

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	世界史 A	単位数	2 単位
-----	-------	-----	------

1 教科書・副教材

教科書 世界史 A (清水書院)

2 科目の目標

世界史の大きな流れと地域的なまとまりや同時代の横のつながりを基本にしながら、世界史の全体像をつかむ。こうした学びをもとに、これから私たちが進んでいく道を考え、あたらしい時代を開いていく姿勢を身につけていく。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	アジアの諸文明	定期考査①	13
	5月			
	6月	ヨーロッパの文明	定期考査②	15
	7月	拡大する欧米の衝撃と ゆれるアジア・アフリカ	定期考査③	15
8月				
9月				
後 期	10月	世界戦争の時代	定期考査④	18
	11月			
	12月	現代世界と地球社会への 歩み	期末考査⑤	17
	1月			
	2月			
3月				

4 評価の方法

世界の歴史の大きな流れや各時代の特色を把握することができたかを確認する。授業について、主体的に取り組んでいるか、出席や授業態度、提出物、考査などから総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

授業の欠課・遅刻をしないこと。
学習プリントに必要事項をしっかりと記入し、学習に活用すること。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	世界史B	単位数	4単位
-----	------	-----	-----

1 教科書・副教材

高校世界史B改訂版(山川出版社)

2 科目の目標

古代から現代に至る世界の各地域の歴史と文化を詳細に学ぶことで、現在の世界情勢を理解するとともに、今後の世界についての思考を深める。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	人類の出現	定期考査①	26
	5月	オリエント世界 南アジア世界 東南アジア世界 東アジア世界		
	6月	中央ユーラシア 東アジアの変動 イスラーム世界	定期考査②	30
	7月	ヨーロッパ世界 ユーラシア大帝国の出現	定期考査③	30
	8月	東アジア地域の繁栄と成熟		
9月	大航海時代 ルネサンス 主権国家体制			
後 期	10月	産業革命 環大西洋革命	定期考査④	36
	11月	イギリスの覇権と欧米の国民国家 アジアの変容		
	12月	帝国主義 世界大戦の時代	期末考査⑤	34
	1月			
	2月	東西冷戦から多極化へ グローバル化の進行		
3月				

4 評価の方法

古代から現代にいたる世界各地の情勢について理解を深め、自分の歴史観を持つことで、現在の世界情勢と自分たちの生活について考えることができたかを、授業中の発言や考査、提出物等で総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

- ・授業には欠席や遅刻をせず毎回きちんと出席すること。
- ・授業の内容をしっかりと聴き、ノートをとって学習を深めること。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	日本史 A	単位数	2 単位
-----	-------	-----	------

1 教科書・副教材

教科書 新日本史 A (実教出版)

2 科目の目標

日本の近代史・現代史を学ぶことにより、現代の日本と世界が直面している政治、経済、社会、文化等の課題について、自分なりの見方、考え方ができるようにする。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容		考査範囲	時数(予定)		
前 期	4月	近代国家と社会の形成	世界と東アジア 近代国家の誕生 近代社会の形成	定期考査①	13		
	5月	二つの戦争と大日本帝国	日清戦争と日露戦争 帝国形成期の社会				
	6月	帝国とデモクラシー	大正デモクラシー ヴェルサイユ体制とロシア革命	定期考査②	15		
	7月						
	8月			デモクラシーの展開と帝国の変容	定期考査③	15	
9月	アジアの戦争と第二次世界大戦	日中15年戦争 アジア太平洋戦争	定期考査④	18			
後 期	10月	現代日本の源流			戦後世界と日本 冷戦と日米安保体制		
	11月	冷戦のなかの経済成長			高度経済成長下の日本 経済大国		
	12月	現代の日本			転換した世界のしくみ 現代日本の課題	期末考査⑤	17
	1月						
	2月						
3月							

4 評価の方法

授業や課題に主体的に取り組むことができたか、また歴史の大きな流れやその背景が理解できたかを出席状態や授業態度、提出物、考査などにより総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 毎時間の授業を大切にし、板書を参考に自分なりのノートを作成する。教科書等の図表や史料を読み取り、自身の歴史的考察を深めるようにする。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	日本史B	単位数	4単位
-----	------	-----	-----

1 教科書・副教材

改訂版 高校 日本史B(実教出版)

2 科目の目標

日本の原始・古代から現代までの全時代を学び、自分なりの歴史の見方、考え方を培うことで、現代の日本、世界が直面している政治、経済、社会、文化等について自分なりの見方、考え方ができるようにする。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	原始・古代 文化と国家の形成	定期考査①	26
	5月	古代国家の確立		
	6月	中世 中世社会の成立	定期考査②	30
	7月	中世社会の展開		
	8月		定期考査③	30
9月	近世 統一政権の成立			
後 期	10月	幕藩体制の展開	定期考査④	36
	11月	近代国家の成立		
	12月	大日本帝国の形成 大日本帝国の展開 15年戦争と日本・アジア	期末考査⑤	34
	1月	現代 戦後改革と高度経済成長		
	2月	戦後改革の転換 高度経済成長と公害 21世紀の世界と日本		
3月				

4 評価の方法

日本の歴史の大きな流れや各時代の特色を把握することができたかを確認する。授業について、主体的に取り組んでいるか、出席や授業態度、提出物、考査などから総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 毎時間の授業を大切にし、板書を参考に自分なりのノートを作成する。また教科書等の写真や図など史料を読み取り、自分なりの歴史的考察を深めるようにする。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	地理A	単位数	2単位
-----	-----	-----	-----

1 教科書・副教材

教科書 高等学校 新地理A (帝国書院)
 地図帳 標準高等地図―地図でよむ現代社会― (帝国書院)

2 科目の目標

世界の諸地域の自然環境や人々の生活・文化について学習しながら、地理的な見方や考え方を養う。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容		考查範囲	時数(予定)
前 期	4月	地球上の位置と国家	地上の現象と地球上の位置 球面と平面の世界(図法) 国家の領域と国境	定期考查①	13
	5月	結びつく現代世界	結びつきを強める現代世界 拡大する世界の貿易と交通 世界を一つ結ぶ通信		
	6月	人々の生活と地形	行動圏の拡大、消費行動の変化 観光と人の移動のグローバル化	定期考查②	15
	7月		世界の大地形 山地・平野の地形 海岸の地形・氷河・カルスト地形		
	8月	人々の生活と気候	生活と気候のかかわり 熱帯・乾燥帯の気候と人々の生活 温帯・亜寒帯・寒帯と人々の生活	定期考查③	15
	9月	人々の生活と産業・文化 世界の諸地域の生活・文	生活を支える世界の農業・工業 生活と文化のかかわり 中国の生活・文化 韓国の生活・文化		
後 期	10月	世界の諸地域の生活・文化	東南アジアの生活・文化 南アジアの生活・文化	定期考查④	18
	11月		西アジア～北アフリカの生活・文化 サハラ以南のアフリカの生活・文化 ヨーロッパの生活・文化 ロシアの生活・文化		
	12月	地球的課題 身近な地域の課題	アメリカ合衆国の生活・文化 ラテンアメリカの生活・文化 オセアニアの生活・文化	期末考查⑤	17
	1月		世界の人口・食糧・都市問題		
	2月		日本の自然環境と災害		
	3月				

4 評価の方法

「思考力・資料活用力・表現力」、「知識・理解」、「関心・意欲・態度」について、授業、提出物、定期考查等により総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 地名を地図上で確認する習慣をつけよう。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	地理B	単位数	4単位
-----	-----	-----	-----

1 教科書・副教材

教科書	新詳地理B (帝国書院)
地図帳	標準高等地図－地図でよむ現代社会－ (帝国書院)

2 科目の目標

世界の地形と気候を学ぶことにより各地域の特徴を知り、現代文化の形成の背景を考え、様々な観点から世界をみる素養を養う。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	地図の種類・活用法 自然環境	定期考査①	26
	5月	世界観の変遷・各図法・時差 内的営力による世界の大地形 プレート運動、造山帯、火山活動 地形図の見方・読み方		
	6月	世界の気候環境	定期考査②	30
	7月	外的営力による身近な地形 山地の地形、平野の地形 海岸の地形、特殊な地形 気温・降水・風 局地的な気候、異常気象 気候と植生・土壌 熱帯気候、乾燥気候 温帯気候		
	8月	日本の自然環境	定期考査③	30
	9月	資源・産業		
後 期	10月	産業活動 (2)	定期考査④	36
	11月	人口問題・村落と都市 生活文化・民族・宗教		
	12月	世界の地域の地誌	期末考査⑤	34
	1月	東アジアの地誌 東南アジアの地誌 南アジアの地誌 西アジア・北アフリカの地誌 中南アフリカの地誌 ヨーロッパの地誌		
	2月	ロシアの地誌 アングロアメリカの地誌 ラテンアメリカの地誌		
	3月	オセアニアの地誌		

4 評価の方法

授業に主体的に取り組み、系統地理および地誌の基本的な知識や地理的な見方・考え方が身についたかどうかを考査、作業課題、レポート課題などから総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 地図帳を毎時間持参し、地図を通して学習を深めることが大切である。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	地域の歴史・地理	単位数	2単位
-----	----------	-----	-----

1 教科書・副教材

適宜資料をコピーして配布。紹介資料を読むことが望ましい。

2 科目の目標

義務教育の社会科や、地歴公民科目の学習を基礎に、地域の身近な事象についてその歴史や地理的背景を調べ理解を深める。そして自らの調べた内容と考察を、実証的に表現する。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	中信地区の自然環境 歴史区分について 身近な事象紹介①	定期考査①	13
	5月	身近な事象紹介②		
	6月	身近な事象紹介③	定期考査②	15
	7月	身近な事象紹介④	定期考査③	15
	8月	各自のテーマ設定 文献購読		
9月	文献資料の扱い方 文献調査と経過報告			
後 期	10月	フィールドワークの仕方	定期考査④	18
	11月	文献調査と経過報告		
	12月	論述	期末考査⑤	17
	1月	論述		
	2月	発表		
3月				

4 評価の方法

授業への参加や提出物、経過報告の内容から、授業の内容が理解できたか、またそれらについて考察と適切な表現ができたかを総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

地域の身近なものにも歴史がある、という視点を常に持って授業に取り組みたい。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	現代社会	単位数	2 単位
-----	------	-----	------

1 教科書・副教材

教科書 最新現代社会新訂版 (実教出版)
 地図帳 標準高等地図—地図でよむ現代社会— (帝国書院)

2 科目の目標

主体的に授業に取り組み、現代の日本社会、世界情勢の諸課題や諸問題について理解する。またそれらに対して自分の考えを持ち、表現できるようになることや自分とは異なる考えに触れて、受け入れることができる力を身につける。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	私たちの生きる社会 地球環境問題	定期考査①	14
	5月	資源・エネルギー問題 生命科学と情報技術の課		
	6月	青年期と自己の形成 自分らしく生きる 人間としてよく生きる	定期考査②	15
	7月	現代の民主政治と日本国憲 現代国家と民主政治	定期考査③	14
	8月			
9月				
後 期	10月	日本の政治機構と政治参	定期考査④	18
	11月	現代の経済社会と国民生活		
	12月	現代の経済社会	期末考査⑤	17
	1月	日本経済の特質と国民生活		
	2月	国際社会と人類の課題		
3月				

4 評価の方法

出席・授業態度・提出物・考査等の取組状況を総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 日頃から新聞やニュースを見て、社会全般に関心を持つこと、また授業を大切にし板書を参考に自分なりのノートを作成し、自分の考えをまとめ、発表できるようになること。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	倫理	単位数	2単位
-----	----	-----	-----

1 教科書・副教材

高等学校 改訂版 倫理 (第一学習社)

2 科目の目標

青年期の自己形成と世界の様々な思想について理解と思索を深めながら、善き生き方について考えていく。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)	
前 期	4月	青年期の課題と自己形成	定期考査①	13	
	5月	人間としての自覚			
	6月	唯一神の宗教 唯一神の宗教 キリスト教 イスラーム 仏教 中国の思想	定期考査②	15	
	7月				
	8月		定期考査③	15	
9月	国際社会に生きる日本人としての自覚	日本の思想			
後 期	10月		日本の思想		
	11月	現代に生きる人間の倫理	近代の科学革命と自然観 自由で平等な社会の実現	定期考査④	18
	12月		社会主義思想 実存主義思想		
	1月	現代の諸課題と倫理	戦争期の日本の思想	期末考査⑤	17
	2月		国際平和と人類の福祉		
3月		環境問題や情報社会と倫理			

4 評価の方法

「思考力・判断力・表現力」、「知識・理解」、「関心・意欲・態度」について、出席状況、授業の取り組み、提出物、定期考査等により総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

自分の内面を見つめながら自己形成について考えていきましょう。思想や宗教を理解することはとても難しいです。自分で考えながら理解していきましょう。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	政治・経済	単位数	2単位
-----	-------	-----	-----

1 教科書・副教材

教科書 最新 政治・経済 新訂版 (実教出版)

2 科目の目標

現代の日本の政治・経済の仕組みや国際政治・経済の諸事項について、具体的な事例を取り上げながら理解を深め、自分なりの見方や考え方を育む。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	現代国家と民主政治	定期考査①	13
	5月	日本国憲法と基本的人権		
	6月	日本の政治制度と政治参加	定期考査②	15
	7月	日本の政治制度と政治参加	定期考査③	15
	8月	現代の国際政治		
	9月	現代経済のしくみ		
後 期	10月	現代の日本経済と福祉の向	定期考査④	18
	11月	現代の国際政治		
	12月	現代社会の諸課題		
	1月	現代の国際政治	期末考査⑤	17
	2月	現代社会の諸課題		
	3月	現代社会の諸課題		

4 評価の方法

授業への参加、提出物、定期考査等を総合的に評価する。また各事項について、知識・理解・思考力を深める努力を評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

新聞やニュースを見て、社会事象全般に関心を持つことが大切である。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	教養社会	単位数	2単位
-----	------	-----	-----

1 教科書・副教材

副教材 新編テーマ別資料 現代社会2021 (とうほう)

2 科目の目標

地歴公民科目全般を復習しながら、国内外における現代の諸問題について関心を持ち、主体的に考え理解を深める。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	現代政治	定期考査①	13
	5月	現代政治		
	6月	現代政治		
	7月	現代政治	定期考査②	15
	8月	現代政治		
	9月	現代政治		
後 期	10月	現代経済	定期考査④	18
	11月	現代経済		
	12月	現代経済		
	1月	国際社会	期末考査⑤	17
	2月	国際社会		
	3月			

4 評価の方法

授業への参加・提出物等の状況や、授業の内容を理解し、課題等について自分の考えをまとめ表現することができたかななどを総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

日頃からニュースや新聞に触れて、社会のしくみや課題等を知ろうとする努力が大切である。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	時事問題	単位数	2単位
-----	------	-----	-----

1 教科書・副教材

図書館の書籍や新聞、雑誌やインターネット上のニュース動画を活用する。また、文献資料を適宜資料をコピーして配布する。

2 科目の目標

様々な科目で学習した知識・技能をもとに、国内外における諸事件・事象のについて深く掘り下げ、考察することで、現代の社会についての理解を深める。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	現代の日本と世界 ・学習の進め方 毎週はじめに先週までのニュースを取り上げその原因や事件・事象の過程や背景について考察を深める。	定期考査①	13
	5月			
	6月		定期考査②	15
	7月		定期考査③	15
	8月			
9月				
後 期	10月	年間学習のまとめ 年間を通じて最も興味・関心をもった事件や事象を取り上げて、考察しレポートとしてまとめる。	定期考査④	18
	11月			
	12月		期末考査⑤	17
	1月			
	2月			
3月				

4 評価の方法

授業への参加や提出物等の内容から、授業の内容が理解できたか、またそれらについて考察ができたかを総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 日頃から積極的にニュースや新聞に触れて、事件や事象の概要・現状を正確につかもうとすることが重要です。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	社会研究	単位数	2単位
-----	------	-----	-----

1 教科書・副教材

図書館の書籍や新聞を活用する。また、適宜資料をコピーして配布する。

2 科目の目標

様々な科目で学習した知識・技能をもとに、国内外における諸課題の中からテーマを選び、それについて深く掘り下げ、解決の方法を考察することで、現代の社会についての理解を深める。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)	
前 期	4月	現代の日本と世界 調査、研究の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の年間計画 ・現代の日本と世界の状況を把握する ・現代の日本および世界の課題の中から各自がテーマを選択する ・調査、研究の方法について学ぶ (文献調査、フィールドワーク、インターネットによる調査) 	定期考査①	13
	5月				
	6月			定期考査②	15
	7月				
	8月			定期考査③	15
後 期	9月				
	10月	調査、研究の準備 調査研究の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の実践 ・分析とまとめ ・研究成果の発表 	定期考査④	18
	11月				
	12月				
	1月				
	2月			期末考査⑤	17
3月					

4 評価の方法

授業への参加や提出物等の内容から、授業の内容が理解できたか、またそれらについて考察ができたかを総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

日頃から少しでもニュースや新聞に触れて、社会の概要・現状を知ろうとすることが大切です。

令和3年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	国際社会と情報	単位数	1単位
-----	---------	-----	-----

1 教科書・副教材

適宜資料をコピーして配布。

2 科目の目標

現代社会の情報化の観点から、国内外における現代の諸問題について関心を持たせるとともに主体的に考え、情報化社会を生きる力を養う。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	情報化社会の課題		6
	5月			
	6月	国際社会の現状と課題		9
	7月			
	8月			9
9月				
後 期	10月	情報技術の仕組み		10
	11月			
	12月			
	1月	発表とまとめ		5
	2月			
3月				

4 評価の方法

授業への参加や作成課題等の内容から、授業の内容が理解できたか、ねらいとする知識や技能が身についたかを総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 日頃から少しでもニュースや新聞に触れて、社会の概要・現状を知ろうとすることが大切です。